

介護の風景

▷3◁

桜がいつ満開になるか、その日をうかがい、人々が心浮き立たせていた先週末。高崎市のケアマネジャー、桜井宏子さんは、別の意味で陽気に気が掛けていた。思いもよらないことだった。四月になって次々に入ってくる介護保険利用者からの電話。

「デイサービスの送迎をお願いしてたけど、陽気がよくなったから、リハビリのために自分で歩いていきたい」

「暖かくなったんで、美容院に行ってセットしてきた。おふろにも入りたい。ケアプランにはないけど、入浴サービスをお願いできないか」

それらの希望を聞き入れることは、三月中旬に慌てふためいて作った、それぞれの利用者の一カ月の計画と料金を手直しすることを意味する。

「でも、なんとか聞いてあげて、利用料の請求作業をする今月末までに調整できないかと思う。ほかのケアマネジャーが季節の変わり目でごんなら、ハートフル所属のホームヘルパーの利用を依頼するケアプランも続々届けられている。」

「ケアマネジャーによりお年寄りの状態は変わってプランの書き方はまちまち。どの利用者が自己負担額を一割でなく三〇に減額される非課税世

奔走のケアマネジャー

人間って、機械じゃないんですねえ

ンですからね。不明な点を聞いて合わせたり、月末には利用者たちへの請求を分刻みだが、受け持つ十九人の利用者者に接するとき、少しもいらない姿勢は見せない。介護保険スタートル前の混乱期から一貫して、先月二十七日午前九時半。デイサービスを週一回から二回に増やしたいという家へ。九十歳の本人と二歳の本人と

電話で済む話だ。わざわざ訪問するのは、「あえて顔を見るようにしているからなんです」

同十時半。予約なしに次の家を訪問。「近々で来たので寄ってみたいです。いかがですか?」

「近々で来たというのは、は晴れやか。ケアマネジャーになって良かった、細胞全開っていう感じで仕事してるからですよ。私自身、父が強度

疲れにかかわらず、声は晴れやか。ケアマネジャーになって良かった、細胞全開っていう感じで仕事してるからですよ。私自身、父が強度



「でも、なんとか聞いてあげて、利用料の請求作業をする今月末までに調整できないかと思う。ほかのケアマネジャーが季節の変わり目でごんなら、ハートフル所属のホームヘルパーの利用を依頼するケアプランも続々届けられている。」

「ケアマネジャーによりお年寄りの状態は変わってプランの書き方はまちまち。どの利用者が自己負担額を一割でなく三〇に減額される非課税世

のアルコール依存症で家庭崩壊も同然。祖母は全盲。同い年で一緒によく遊んだ知的障害者のいとこは、がんで早く亡くなった。何年前には悲惨な形で離婚、三人の子供をかかえどん底だった。救いを求めた過去から目に見えないものをいっばいもらったから、お年寄りのうちのケースが私の中に染み通ってくる。一刻も早く手だてしてあげたい思いなんです」

介護保険に関するあなたの悩み、意見をお寄せください。あて先は〒371-8666 上毛新聞社編集局 前橋市古市町1-50 「介護保険取材班」

21(027・254 9933、FAX 27・252・5332)